

平成 29 年度自己評価取りまとめ

会議日 30 年 7 月 2 日

参加者：理事長、教務主任、教務副主任、教員二人、事務局長

1. 学校の理念・使命・ビジョンについて

【意見】

- ・進学に特化しているということは明確に理解されている。
- ・昨年に比べると、学生の進学に向けての学校内体制が相当程度改善されたと思われる。

- （学校の対応）今後も進学に強い学院のイメージを継続して行きたい。

2. 組織運営・人事システムについて

【意見】

- ・情報システム化をさらに進めていくべきだと思われる。
- ・学生が増加してきているため事務職員の増加が必要ではないか
- ・事務職員も能力向上のための研修等が必要ではないか

- （学校の対応）今後教職員とも研修を実施し、人材開発を行っていく。

- （学校の対応）事務職員の増加は実施予定。

3. 学生指導について

【意見】

- ・昨年度にも引き続き、在校生に対しては社会人になるためのキャリア教育も施し大学・大学院進学選定のヒントも与える必要もあるのではないか
- ・卒業生のその後の歩みを検証して、当学院の日本語教育の良さ悪さを検証する必要があるのではないか（ある卒業生によると当学院の日本語教育は良い。大学院に進学した時に他の学生と比べると日本語ができていると評価してもらっているとのことである）

- （学校の対応）学生に対してキャリア教育も含め進学に資する対応を実施していく。

4. 日本語指導について

【意見】

・どうしてもコミュニケーションの力がつきにくい。学生個々人に任せるしかないのだが何かいい方法を今後考える必要があるのではないか。進学時にもコミュニケーションが取れないと志望校合格は難しい。

- コミュニケーション力をつけるためには日本人と積極的に会話していく必要がある。そのため、例えば、浦和パルコにある国際交流センターにある日本語会話教室などでのボランティアの方と会話をさせるよう案内していく。

5. 学生からの評価について

【意見】

・わかりやすく、内容も適切との評価を得ているが、授業の狙いや補助資料については満足度が他に比べると低いようだ。

・満足度はほぼ 80%となっている。さらに、満足度が上がるように普段の授業に力を入れていくべきである。

- （学校の対応）学生の満足度を上げる活動は常時していくようにする。